

# 「の～りんの小窓」

## 第16枠 『青海苔の養殖』

尾鷲農林水産商工環境事務所の「の～りんの小窓」にようこそ。  
このコーナーでは、紀北町・尾鷲市内の出来事や情景などを紹介しています。



今回は、紀北町の矢口浦で行われている青海苔の養殖の風景です。

青海苔の種付けは9月頃から始まり、翌年の4月頃までに3～4回の収穫を行います。

海の栄養を吸収した青海苔はまるで緑の絨毯のようで、寒い冬の海によく映えます。

なお青海苔には数種類ありますが、この青海苔は「ヒトエグサ」とも呼ばれ、三重県での生産量は全国一を誇ります。ご家庭の食卓には、主に「あおさ海苔」として並びます。

青海苔の種付けの様子は、当事務所 水産室ホームページの「東紀州のうみとみなと」第2号でもご覧いただけます（以下の URL をご参照下さい）

（ [http://www.pref.mie.lg.jp/ONOKAN/HP/suisan/umi\\_to\\_minato.htm](http://www.pref.mie.lg.jp/ONOKAN/HP/suisan/umi_to_minato.htm) ）